学校番号	１００９

令和３年度　農業科

教科	農業	科目	野菜	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「野菜」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは、生きるための栄養を食べ物から取り入れています。野菜は、体の成長や健康の維持と増進に欠かせない食べ物です。「どんな野菜がいつ、どこで生産されるか」「野菜が収穫されてから、食卓までどんな旅をしてくるか」を大きなテーマに野菜をつくる側と利用する側にたって見聞を広めましょう。

2　学習の到達目標

・野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、野菜の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。
・科学的思考力と問題解決能力を伸ばし、社会で活用できる能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	野菜の生産と栽培管理について興味関心を持ち、課題の探求に意欲的に取り組むと共に、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身につけている。	野菜の生産と栽培管理について諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断し、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身につけている。	野菜の生産と栽培管理について基礎的な技術を身につけ、栽培に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	野菜の生産と栽培管理について、基礎的な知識を身につけ、それらの野菜の特性と栽培のための環境や技術の重要性を理解している。
評価方法	学習状況の観察 出席状況 実習記録表（ノート） レポート・発表 発表 自己評価　等	学習状況の観察 実習記録表（ノート） レポート・発表 定期考査 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 出席状況 実習記録表（ノート） レポート・発表 定期考査 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 実習記録表（ノート） レポート・発表 定期考査 自己評価・相互評価 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6 7	野菜の種類と生産・春夏野菜の栽培	・野菜の定義と種類について ・野菜の生産について概論 ・キュウリ・トマト・ナス・ピーマンなどの春夏野菜の栽培理論及び播種・育苗・定植や収穫・調整、片付けまでの実技実習 ・品種の由来、栽培特性、作型、経営上の特性についての理論	○ ○ ○ ○ ◎	 ○ ◎ ○	 ◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ○ ◎	a:野菜の栽培について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:課題を見いだし、解決を目指して思考を深め判断できる。 c:基礎的な技術を身につけ、効率よく活用できる d:基礎的な知識を身につける。	授業観察 授業記録 出席状況 定期考査
8		・夏期休業中課題	◎			○	a:野菜の栽培について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d:基礎的な知識を身につける。	授業記録
9 10 11 12	秋冬野菜の栽培	・タマネギ、ハクサイ、ダイコン、ホウレンソウなどの秋冬野菜の栽培理論及び播種・育苗・定植や収穫・調整、利用、片付けまでの実技実習 ・まとめ	○ ○ ◎ ◎	◎ ◎ ○ ○	◎ ◎ ○	○ ○ ○ ◎	a:野菜の栽培について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:課題を見いだし、解決を目指して思考を深め判断できる。 c:基礎的な技術を身につけ、効率よく活用できる d:基礎的な知識を身につける。	授業観察 授業記録 出席状況 定期考査
1 2	栽培のまとめ	・収穫、加工・利用 ・次年度準備(土壌改良) ・まとめ学習の発表	◎ ◎ ◎	○ ◎	○ ◎	○ ○ ◎	a:野菜の栽培について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:課題を見いだし、解決を目指して思考を深め判断できる。 c:基礎的な技術を身につけ、効率よく活用できる d:基礎的な知識を身につける。	授業観察 授業記録 出席状況 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。